

新潟市老人福祉センター 指定管理者事業計画総括表

南区健康福祉課

項目	株式会社NK Sコーポレーション新潟支店	
	老人福祉センターいこいの家楽友荘	
1. 事業者の概要	代表者 取締役支店長 矢代 繁	設立 S38.2 事業内容 ・ビル総合管理・営繕工事の請負・不動産賃貸業・文化会館、図書館などの公共施設の管理運営 施設管理実績 ・新潟市老人福祉センターいこいの家月寿荘・新潟市老人福祉センターいこいの家得雲荘・いこいの家西川荘 ・長岡市高齢者センターみやうち・見附市老人保健施設ケアプラザ見附・見附市海の家 海・海ハウス
2. 当該施設の管理運営の基本方針及び管理運営を行う意欲	<p>(1) 当該施設の管理運営の基本方針 「学習、文化活動」「仲間づくり」「交流」ができる場所を目指し、地域の高齢者の方が気軽に、継続的に、安全に、安心して利用できる「身近な場所」として、公平な管理運営を行うことを理念とします。21世紀を迎え少子高齢化が進行している中で、『いこいの家楽友荘』は高齢者の方に「健康等の各種相談の対応」「健康の増進」「教養の向上」「レクリエーション」の場所を提供し、『健康な長寿』を支援していきます。</p> <p>(2) 当該施設の管理運営を行う意欲について 多様化した高齢者の方のニーズに対応するため『いこいの家楽友荘』の特性を活かした事業を実施し、普及促進に努めます。地域の高齢者の方が気軽に、継続的に、安全に、安心して利用できる「身近な場所」を目指し一層の振興を図ります。</p> <p>【事業内容】 高齢者の健康相談・生活（食生活を含みます）相談の実施 高齢者のための教養講座、レクリエーション等の実施 高齢者によるレクリエーション及び集会のための施設提供の実施</p>	
3. 職員研修計画	<p>(1) 職員の配置 いこいの家楽友荘管理運営責任者には、本社企画開発室管理部長があたります。施設責任者及び受付事務員についても経験十分な者を充てるとともに、設備管理等においては新潟支店設備担当が密接な連携の下に管理体制を組み万全を期します。</p> <p>(2) 職員の研修計画 当該施設が高齢者利用の施設であることから、安全、安心に重点を置き研修をします。また、利用される皆様が気持ちよく利用できるよう接遇面の向上を図ります。 基本業務研修 施設業務研修 消防訓練・防災訓練</p>	
4. 機密・個人情報保護の管理力	<p>個人情報保護条例を遵守し、個人情報を適正に取り扱います。 「新潟市個人情報保護条例」を遵守し、個人情報の保護と保有する情報の管理を徹底します。</p>	
5. 高齢者への配慮	<p>高齢者、障がい者の方が来館しやすく安心して安全・平等に利用できるように（おもてなしの心）を持って対応します。 ・来館者の状況を把握します。・浴室巡視業務には特に注意を払います。・その他 非常時の避難方法を確立します。</p>	
6. 利用者へのサービスの向上	<p>(1) 利用者へのサービスの向上 「ハード」と「ソフト」両面で、（おもてなしの心）を持って運営します。 ・利用者の方へ「ハード」面で安全、安心を実感して頂きます。・「ソフト」面でも、職員の資質の向上を図ります。</p> <p>(2) 利用者のニーズの把握と反映 意見箱等によりニーズを把握し、PDCAマネジメントサイクルにより業務改善を図ります。 ・要望・意見箱を設置します。・アンケート調査を実施します。・PDCAマネジメントサイクルによる業務への反映・事業評価委員会の設置</p>	
7. 衛生管理・安全対策	<p>(1) 衛生管理 (ア) 浴槽、浴室、脱衣場の衛生管理 浴場に関する法令の遵守は勿論、利用される皆様が高齢であり、体力的なことを考え、特に細菌感染等の無いよう最大限の注意をし、適正な管理を行います。浴槽・浴室等の衛生管理は、「公衆浴場法」、「新潟県公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置の基準等に関する条例」、「公衆浴場における衛生等管理要領等について」等の関連する諸基準を遵守し、より積極的に衛生管理を行います。 (イ) 施設の清掃 清潔・美観の維持に努めます。 ・対象箇所別に作業方法等を選定します。・ノウハウを伝授する研修を実施します。・清掃の責任指導員が逐次巡回し、作業状況を管理します。・現場責任者による自主点検を実施します・効果的に作業を実施します。</p> <p>(2) 安全対策及び緊急時の対応について 安全に、安心して利用できる「身近な場所」として、運営管理を行うことを運営理念としております。各種マニュアルを整備して対応していきます。(ア) 防犯(イ) 防災(ウ) 事故(エ) その他、緊急時の対応</p>	
8. 管理経費削減の取り組み	<p>(1) 支出計画 【収入】 新潟市からの委託料 10,500千円 計 10,500千円</p> <p>【支出】 人件費 2,890千円 管理費 7,151千円 事務費 296千円 その他 163千円 計 10,500千円</p> <p>(2) 経費削減の具体的な取り組み (ア) 職員の適正数配置により人件費を縮減します。 (イ) 外部委託経費の縮減を図ります。 (ウ) その他の経費縮減策 在庫管理を正確に行い担当者が無駄のない、適正在庫数を保ち消耗品縮減を図るほか、収支計画に基づく事業運営を行い管理費用の縮減に努めます。</p>	
9. 健康づくり、介護予防についての情報収集及び提供	<p>高齢者一人ひとりが自分に合った健康づくりに参加できるように、また、介護を要する状態とならないために、関係各部署と連絡・連携し情報を収集、提供します。 (ア) 関係各部署と連絡・連携し収集、提供します。 (イ) 収集した情報は効果的に提供します。</p>	
10. 高齢者生きがい推進事業等実施に関する提案	<p>『いこいの家楽友荘』は高齢者の方の心と体の健全を保ち、健康維持・増進を図るとともに、積極的に若い世代を支援育成でき、生きがいを推進できる「身近な場所」にしていきます。地域の保健・医療・福祉の専門機関・団体や、地域住民の方、各福祉センター、自治会や地区社会福祉協議会、各種ボランティアグループ等と、相互に連携することにより、よりよい事業を実施します。</p> <p>【事業計画】 老人クラブとの協力・連携を緊密にし、支援活動等に役立てます。 伝承活動等の世代間交流活動を通して若い世代と一緒に活動を実施します。</p>	
11. 併設施設での施設管理における協力体制及び問題点とその対応策	<p>(1) 協力体制 平常時から緊急時まで相互に緊密に連携をとり、円滑な施設運営を図っていきます。 デイサービスセンター及び健康センターと緊密に連携を図ります。</p> <p>(2) 問題点 (ア) それぞれの施設の特性の違いがあります。 それぞれの施設により、休館日や開館時間が異なります。また、各施設の設置目的が異なることにより、それぞれ利用される方々の目的が異なります。 (イ) 緊急時の対応に留意する必要があります。 施設管理者が異なることにより、敷地内での災害、事故発生等の緊急時に、各施設がそれぞれの管理運営責任者の判断で別々に動いてしまわないよう留意する必要があります。</p> <p>(3) 対応策 (ア) 利用者の方に（おもてなし）の心を持って対応します。 他の施設の利用者の方も接遇する機会があるという考えのもと、利用者の方々すべてに（おもてなし）の心を持って接遇するよう、職員には研修等で指導していきます。休館日や開館時間については、間違える利用者が発生しないよう周知します。 (イ) 緊密に連携をとり対応します。 事業等の連携だけではなく、災害、事故発生時にも緊密に連携を図れるよう、緊急時の連絡、協力体制も構築していきます。</p>	